エコアクション21

環境経営レポート

第５版

UKI HOSOU

対象期間　2022年 9月 1日～2023年 8月31日

発 行 日　2023年12月 1日

©2010 熊本県くまモン

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

エコアクション21

認証番号0013092

熊本県SDGｓ登録事業者

宇城舗装　株式会社

目　　次

1）　組織の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

2）　環境経営方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

3）　実施体制図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

4）　中期環境経営目標　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

5）　環境経営目標と実績　2023年度　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

6）　環境経営計画と実施状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

7）　実績の評価と次年度の取組　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

8）　環境関連法規等の遵守状況確認及び違反・訴訟の有無　・・・・・・・・・・　8

9）　環境教育実施状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

10）　環境活動取組状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

11）　代表者による全体の評価と見直し・指示の結果　・・・・・・・・・・　11

1）組織の概要

1）　事業者名　　宇城舗装　株式会社

2）　代表者名　　代表取締役　　吉田　卓也

3）　所在地　　〒８６９－０５１１
熊本県宇城市松橋町曲野８２５－１

4）　環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者　　専　務　　小桝　秀史
環境担当者　　総務部　　西島　和美

ＴＥＬ　　0964-33-1010
ＦＡＸ　　0964-33-1011
e-mail　　ukihosou@gamma.ocn.ne.jp

5）　事業内容
①　特定建設業　　土木工事業、舗装工事業、とび・土木工事業、水道施設工事業
（熊本県知事許可）第8401号　　有効期限　令和8年5月20日
②　舗装用合材の販売
③　産業廃棄物収集運搬業（自社工事分取り扱い・下請工事含む）
（熊本県知事許可）第０４３００２０３１９４号（がれき類）
（積替え保管無し）　　有効期限　令和10年8月23日

6）　事業規模
①　会社創立　　昭和５３年(１９７８年）８月２６日
②　資本金　　４０００万円
③　事業年度　　９月１日　～　翌８月３１日まで
④　売上高(税抜き)　　完成工事　　３４２８２万円　　2023年8月
合材売上　　６１５万円　　2023年8月
⑤　従業員数　　１８名
⑥　延べ床面積　　事務所　131.82㎡　　倉庫　134.35㎡
⑦　所有設備　　建設機械：アスファルトフィニッシャー、グレーダー、ロードローラー、タイヤローラー、バックホー11台、ホィールローダー、スィーパー
太陽光発電設備（売電専用）
⑧　収集運搬用車両　　３ｔダンプ２台、８ｔダンプ１台

7）　対象範囲　　全組織　土木工事業、舗装工事業、舗装用合材の販売

2）環境経営方針

《企業行動５つの誓い　》

法令順守　　その行為は法律に違反していないか
企業理念　　その行為は企業理念や倫理に違反していないか
社会常識　　その行為は社会の常識か
社会の目　　その行為は社会の目　安心、安全に背いていないか
自分の心　　その行為は間違いないか、自分の心に問いかける

《環境経営理念》

当社は、創業以来一つ一つ丁寧に実績を積み上げてきた会社であります。本業である建設工事の事業活動を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動を推進するために、社員一丸となって地域社会に貢献しながら継続的に改善活動に取り組んでまいります。

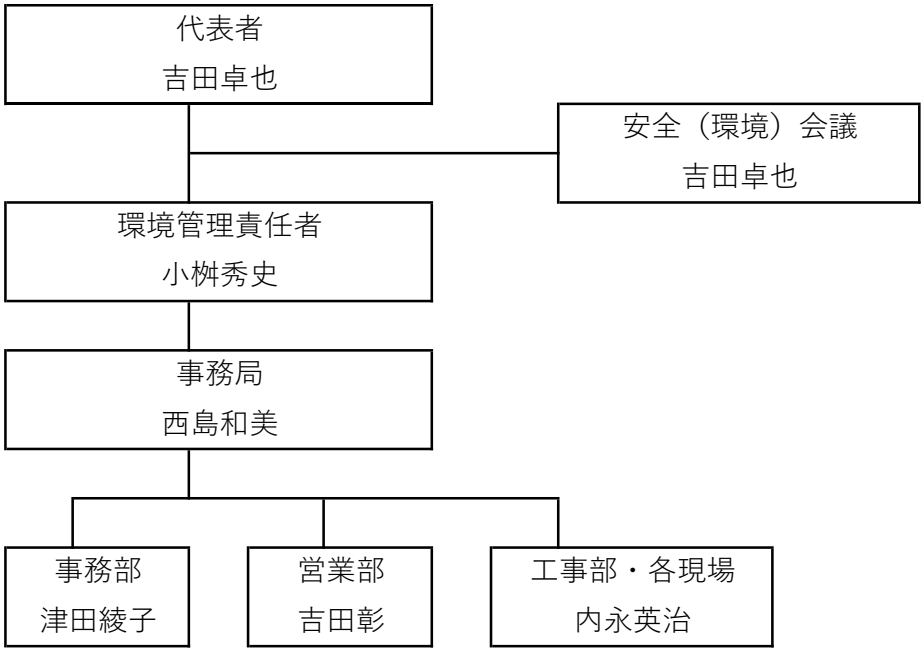
《環境保全への行動指針》

1. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制に努め、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 清潔な作業環境に努め、顧客・利用者の信頼を築きます。
6. 環境に配慮した工事を施工します。
7. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
8. 建設技術力を強化します。
9. 環境経営方針は、全従業員に周知します。

制定：　２０１９年　１１月　　１日
改定：　２０２１年　　８月　３１日

宇城舗装株式会社
代表取締役　吉田卓也

3）実施体制図



	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・実施体制の構築 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定、見直し及び全従業員への周知徹底 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等を準備
安全（環境）会議	・安全／環境についての打合せ
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営目標・環境経営計画書を策定 ・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守評価の実施 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認 ・環境教育の計画・実施
事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境活動の実績集計 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付け） ・環境コミュニケーションの窓口 ・その他
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動に参加する

4)　中期環境経営目標

2023年度：2022年9月～2023年8月

	項目 排出係数	単位	2019年 基準年	2022年度 目標（-1.5%）	2023年度 目標（-2.0%）	2024年度 目標（-2.5%）
1	CO2排出量の削減　※	kg-CO2	117,662	115,898	115,309	114,721
2	電気使用量(事務所)の削減	k Wh	9,032	8,897	8,852	8,807
3	電気使用量(倉庫)の削減	k Wh	1,404	1,383	1,376	1,369
4	ｶﾞｿﾘﾝ使用量(事務所)の削減	L	4,615	4,546	4,523	4,500
5	ｶﾞｿﾘﾝ使用量(現場)の削減	L	12,123	11,942	11,881	11,820
6	軽油使用量(現場)の削減	L	27,446	27,035	26,898	26,760
7	灯油使用量の削減	L	1,396 (2020年目標変更)	1,376	1,369	1,362
8	ｶﾞｽ(LPG)使用量(事務所)の削減	kg	0.5	0.5	0.5	0.5
9	ｶﾞｽ(LPG)使用量(現場)の削減	kg	700	690	686	683
10	水使用量の削減	㎥	108	106	106	106
11	一般廃棄物排出量の削減	kg	2,950	2,906	2,891	2,877
12	産業廃棄物 ﾘｻｲｸﾙ率100%維持	%	100	100	100	100
13	環境に配慮した地域貢献活動 （ﾛｰﾄﾞｸﾘｰﾝﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ）	回	2	2	2	2
14	技術力の強化 1.2級土木施工管理技士 1.2級舗装施工管理技術者	 人 人	 ー 1	 1 1	 1 1	 1 1

注※九州電力２０１８年度調整後排出係数を使用(0.347kg-CO2/ k Wh)

5）環境経営目標と実績 2023年度

2023年度：2022年9月～2023年8月　　目標÷実績

区分	項目 排出係数	単位	2019年度 実績・基準	2023年度 目標（-2.0%）	2023年度 実績	目標達成率
1	CO2排出量の削減　※	kg-CO2	117,662	115,309	110,978	104% ○
2	電気使用量(事務所)の削減	k Wh	9,032	8,852	8,936	99% △
3	電気使用量(倉庫)の削減	k Wh	1,404	1,376	1,465	94% △
4	ｶﾞｿﾘﾝ使用量(事務所)の削減	L	4,615	4,523	4,399	103% ○
5	ｶﾞｿﾘﾝ使用量(現場)の削減	L	12,123	11,881	9,374	127% ○
6	軽油使用量(現場)の削減	L	27,446	26,898	27,542	97% △
7	灯油使用量の削減	L	1,396 (2020年目標変更)	1,369	604	226% ○
8	ｶﾞｽ(LPG)使用量(事務所)の削減	kg	0.5	0.5	0.5	100% ○
9	ｶﾞｽ(LPG)使用量(現場)の削減	kg	700	686	950	72% ×
10	水使用量の削減	㎥	108	106	95	112% ○
11	一般廃棄物排出量の削減	kg	2,950	2,891	1,756	165% ○
12	産業廃棄物 ﾘｻｲｸﾙ率100％維持	%	100	100	100	100% ○
13	環境に配慮した地域貢献活動 （ﾛｰﾄﾞｸﾘｰﾝﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ）	回	2	2	2	100% ○
14	技術力の強化 1.2級土木施工管理技士 1.2級舗装施工管理技術者	人 人	ー 1	1 1	土木2級1 土木1級学科1 舗装2級学科1	○ △

達成状況　○＝100％以上　△＝99％～85％　×＝85％未満(是正処置)

注※九州電力２０１８年度調整後排出係数を使用（0.347kg-CO2/ｋＷｈ）

6）環境経営計画と実施状況

○＝できている　△＝ある程度出来ている　×＝出来ていない

目標	具体的活動	担当	実施状況
電気使用量の削減	(1) 不要時、不在時、昼休憩時の消灯 (2) 終業時での電子機器のコンセントの抜取り (3) 間引き照明の実施 (4) 夏季はエアコンと扇風機を併用し、冬季はストーブ使用とする	新田	○ ○ ○ ○
ガソリン・軽油・ガスの使用量の削減	(1) ふんわりアクセル「ｅスタート」 (2) 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転 (3) 減速時は早めにアクセルを離す。 (4) エアコンの使用は適切に (5) 無駄なアイドリングをやめる (6) タイヤの空気圧から始める点検・整備 (7) 不要な荷物は降ろす (8) 重機の定期点検、施工開始時点検 (9) 低騒音、低振動、排気ガス対策重機の使用	(事務所) 吉田彰 (現場) 内永	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
灯油の使用量の削減	(1) 仕事終業１５分前に停止 (2) 給湯器、ストーブは必要時以外点火しない (3) 重ね着など服装の工夫　ウォームビズ	津田	△ ○ ○
水使用量の削減	(1) 節水表示を続ける (2) 現場で行う散水用の水は排水路や川の水を使用する (3) 重機は汚れを落としてから洗機する	(事務所) 新田 (現場) 内永	○ ○ ○
一般廃棄物排出量の削減	(1) コピー用紙の裏紙使用及び使用済み封筒の再利用 (2) 資源ごみの分別、リサイクルの実施 (3) パソコンはプレビューを使用し、ミスコピーの防止に努める	新田	○ ○ △
産業廃棄物のリサイクル率100％維持	(1)多量排出事業者産業廃棄物処理計画書等の提出（年1回） (2)再生処理業者へ自社運搬、又は運搬委託 (3)現場ごとの産廃契約、マニフェスト伝票の作成及び管理	西島 内永	○ ○ ○
環境に配慮した地域貢献活動	(1) ロードボランティア（年2回の実施） (2) 地域の要請ボランティアへの参加	吉田彰	○ ○
技術力の強化	(1) 研修受講11月、2月、3月、4月、7月，９月 (2) 土木受験　2級学科、実地１０月・1級学科7月、実地10月 (3) 舗装受験　２級、１級　６月	新田	○ ○ ○

7） 実績の評価と次年度の取組

電気使用量の削減

評価(1) 不要時、不在時、昼休憩時の消灯は社員が習慣としてしているが達成しなかった。

(2) 夏季はエアコンと扇風機を併用した。

(3) 倉庫での作業が増えたので倉庫の電気の使用量も増えてしまった。

次年度の取組

《1》 今後、より節電する為上記の徹底と確認に努める。

ガソリン・軽油・ガス(現場) 使用量の削減

評価(1) 事務所及び現場のガソリンの使用量は目標に達成することが出来た。

(2) 現場の軽油とガスの使用量は残念ながら目標達成することが出来なかった。

次年度の取組

《1》 車両入替時は低燃費車を購入する。

《2》 エコドライブを引き続き実施する。

《3》 アスファルトフィニッシャーの新型を入れ替えたのでガスの使用量も削減出来ると思う。

《4》 タイヤの空気圧チェックを会議にて周知徹底する。

灯油の使用量の削減

評価(1) 目標に達成した。

次年度の取組

《1》 継続して計画の具体的活動をおこなう。

水使用量の削減

評価(1) 目標に達成した。

次年度の取組

《1》 計画の具体的活動を継続して実施する。

《2》 給水中は溢れないように持ち場を離れないよう周知する。

一般廃棄物の削減

評価(1) 目標に達成することが出来た。

次年度の取組

《1》 計画の具体的活動を継続して実施する。

産業廃棄物のリサイクル率100％維持

評価(1) 工事で発生したＣＯ魂、ＡＳ魂は100％リサイクルし、多量排出事業者計画書も作成し提出出来た。

(2) 現場毎の産廃契約、マニフェスト伝票の作成と管理を行った。

次年度の取組

《1》 引き続き実施する。

環境に配慮した地域貢献活動

評価(1) ロードボランティア及び地域貢献活動は積極的に参加した。

次年度の取組

《1》 工事現場でも工事目的、地域性を常に考慮し、貢献活動を行う。

技術力の強化

評価(1) 講習会、研修会に積極的に参加した。

次年度の取組

《1》 今期同様、希望者には積極的にその機会及び、資金を提供する。

8）　環境関連法規等の遵守状況確認及び違反・訴訟の有無

	遵守評価　　2023年11月22日　　環境管理責任者：小桝秀史	
法規の名称	該当する活動内容	遵守状況
廃棄物処理法	・多量排出事業者産業廃棄物処理計画書等の提出　毎年6月30日迄	○
	・収集運搬業者・処分業者との委託契約（契約書の作成）	○
	・マニフェスト伝票の交付・保管(5年間)	○
	・交付状況等報告・元請責任の明確化(法21条)	○
再生資源利用省令 指定副産物利用 促進省令	・指定副産物の利用と利用量の把握	○
建設リサイクル法	・マニフェストの交付・保管(5年間)	○
	・対象工事(500万円以上）の届出(法13条第4条)	○
家電リサイクル法	・小売店への引渡し方法の確認（有償）	無し
	・自治体指定の方法の確認	無し
リサイクル法	・パソコン廃棄時の適正処理 （メーカーへ返却する）	無し
自動車リサイクル法	・自動車廃棄時の適正処理	○
オフロード法	・基準適合車両の確認（証明書の確認） （協力会社も含む）	○
フロン排出抑制法	・第1種特定製品(ｴｱｺﾝ）→簡易点検（３ヶ月に1回）目視ﾁｪｯｸ 室外機(異常振動、異常音、キズの有無等) 室内機(異常音・冷え・温まり、霜付き、油のにじみ等)	○
騒音規制法	・特定建設作業の届出（開始７日前まで）	無し
振動規制法	・規制基準の遵守	○
浄化槽法	・定期点検、定期清掃、法定検査の実施	○

その結果　法規の違反・訴訟はありませんでした。

また、関係機関からの違反の指摘・訴訟もありませんでした。

9） 環境教育実施状況

環境教育実施

令和4年11月7日

安全教育

環境教育実施

令和5年6月2日

緊急事態訓練

・油流出吸着マット

・消火活動

環境教育実施

令和5年6月5日

一般教育

専門教育

10）　環境活動取組状況

・節水の呼びかけ

・ペットボトルの洗浄分別作業

（通　　期）

・ロードクリーンボランティア作業

（令和4年11月18日、5年1月５日　国道266号線曲野跨道橋下～道徳山公園入り口前約1000ｍ）

・熊本県道路舗装協会にてボランティア活動に参加

（令和5年7月22日　県道八代鏡宇土線の除草・堆積土の除去作業8：00～12：00）

・宇城市舗装工事業組合にてボランティア活動に参加

（令和5年8月25日　長崎久具線の除草・堆積土の作業8：00～12：00）

11）代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

代表者	環境管理責任者
吉田卓也	小桝秀史

1．評価及び見直しに必要な情報（環境管理責任者）　　記録日　　2023年　　11　月　27　日

	環境経営目標	環境経営目標の達成状況	環境経営計画の実施状況	コメント、次年度取組み
環境経営目標の達成状況・環境経営計画の実施状況	二酸化炭素排出量の削減	○	○	今期同様継続して排出量の削減に一層努める。
	電気使用量の削減	△	○	不要時、不在時、昼休憩時の消灯の徹底
	軽油･ｶﾞｽ(現場)・ガソリンの　使用量の削減	○	○	重機が増えたので軽油は目標達成できなかったがガソリンは達成し、次年度もエコドライブを継続する。
	灯油の使用量の削減	○	○	目的達成。次年度も継続して実施する
	水使用量の削減	○	○	目標達成。次年度も継続して実施する。
	一般廃棄物排出量の削減	○	○	分別の徹底、コピー用紙裏面の活用等排出量の削減に務める
	産業廃棄物のリサイクル率100％維持	○	○	完全リサイクルの実施100％
	環境に配慮した地域貢献活動	○	○	工事現場での清掃、ボランティア活動の継続
	技術力の強化	○	○	研修受講や受験を継続して取組み、合格を目指す
環境関連法規等の遵守のチェック　結果	環境法規等の違反はなし。安全パトロール等を行い継続して遵守する。			
外部からの苦情等の受付結果	2023年4月舗装現場でマンホール蓋破損の件・・元請に直ぐ連絡し、了承を得て同等の物と交換。			
前回の代表者の指示事項とその取組結果	前年同様、研修会・講習会に積極的に参加し受験に取り組み、本人の努力もあり1級土木の学科に一人合格。2級土木に1人合格又今年は舗装の２級も学科が１人合格し次年も楽しみである。			
その他（前回の審査での指摘事項の改善結果と改善への提案）	社員の健康と安全を第一に考慮しながら改善する事とした。			

2．評価及び変更の必要性と指示（代表者）　　記録日　　2023年　　11月　30日

環境経営システムが有効に機能しているか	社員各自が自覚を持って行動するようになり、成果として少しづつではあるが出ていると思う。
環境への取組は適切に実施されているか	環境への取組を初めてその一環として、宇城市にある工業高校で舗装の実施学習の実演を行う予定だったがコロナ発生の為中止になった。令和６年の４月か5月に延期となる。
環境経営方針 変更の必要性（○有　●無）	現在の経営方針を継続する
環境経営目標・環境経営計画 変更の必要性（○有　●無）	1.工事現場では工事目的、地域性を常に考慮し貢献活動を行う。 2.自然災害等が起こった場合は積極的に支援等の参加をする 3.苦情、クレーム等の発生した後の処理の検討と対策の改善
実施体制 変更の必要性（○有　●無）	現在の実施体制を継続する
総　　評	特に問題点とする事はなく引き続き継続して実施する。